

投稿

海老名駅での小田急線と 相鉄線の相互乗り入れ実現へ

秦野市議会議員・県央経営者会副会長 福森登

ち上げたり、建設経済常任委員会委員長を務めたりしてきました。

今後は、特色ある街づくりが必要で、市の核になる商店街も必要でしょう。例えば、市内には全国各地から移住された方も多く、空き店舗のある商店街を「当地グルメが楽しめる」「全国名店街」にしてみてもどう

秦野市など県央6市を中心とした企業経営者が集い、昨年6月に192人が賛同し発足した「県央経営者会（代表・大泉政治㈱オーズミ代表取締役）」が、発足後、1年を迎えます。

県央経営者会は、地域人口100万人を擁する県央地域の十分な潜在力を生かし、発展するために欠かせないのが鉄道交通アクセスの整備と考えております。発足時には「新幹線小田原

現に向け、古谷市長の考えも踏まえた意見を述べました。両線を通して利用する通勤客が多い点や、風光明媚な秦野に観光客が来やすくなる点などをアピールしました。通勤や観光で秦野に来た方が秦野を気に入る、ここで働きたい、また行ってみたい、そして住んでみたいと思っただけでしよう。

4月には厚木市内のホテルで小田急線と相鉄線の相互乗り入れ実現に向けた初の公開討論会「県央の交通ネットワークを考える」を開催し、450人が参加されました。副会長を務めている私は山口巖男厚木市長、長塚幾子伊勢原市長、小田急・相鉄の関係者とともにパネリストとして意見を述べました。

秦野の商工業 発展のために

私は常に秦野の商工業が、発展し元気になってほしいと願っており、過去に秦野

私には常に秦野の商工業が、発展し元気になってほしいと願っており、過去に秦野工業協同組合ジュニア会や秦野商工会議所青年部を立



ここで相互乗り入れ実

を述べました。

までお寄せください。

要望は☎(81)0835